



地下の総合  
エンジニアリング

# ケミカルグラウト株式会社

所在地 / 千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング16階  
TEL.03-6703-6767 <https://www.chemicalgrout.co.jp/>  
設立 / 1963(昭和38)年1月29日 従業員数 / 339名(2026年3月現在)



もっと、くわしく  
見てみよう!

職場見学可能です

## ? 地下の総合エンジニアリングって どんなことですか?



どんな時も建物や道路などが崩れないように、地下から支えるための技術です

地面を掘ると砂利や土などの柔らかい部分があったり、簡単には掘れない硬い部分があったり、水分を多く含む部分があったりとさまざまです。これら地下の部分は「地盤」といい、「地盤」が硬いほど、その上にある建物や道路などが安定します。私たちはさまざまな構造物を造る時や完成後の将来にわたって「地盤」を安定させるための地下工事を行っています。



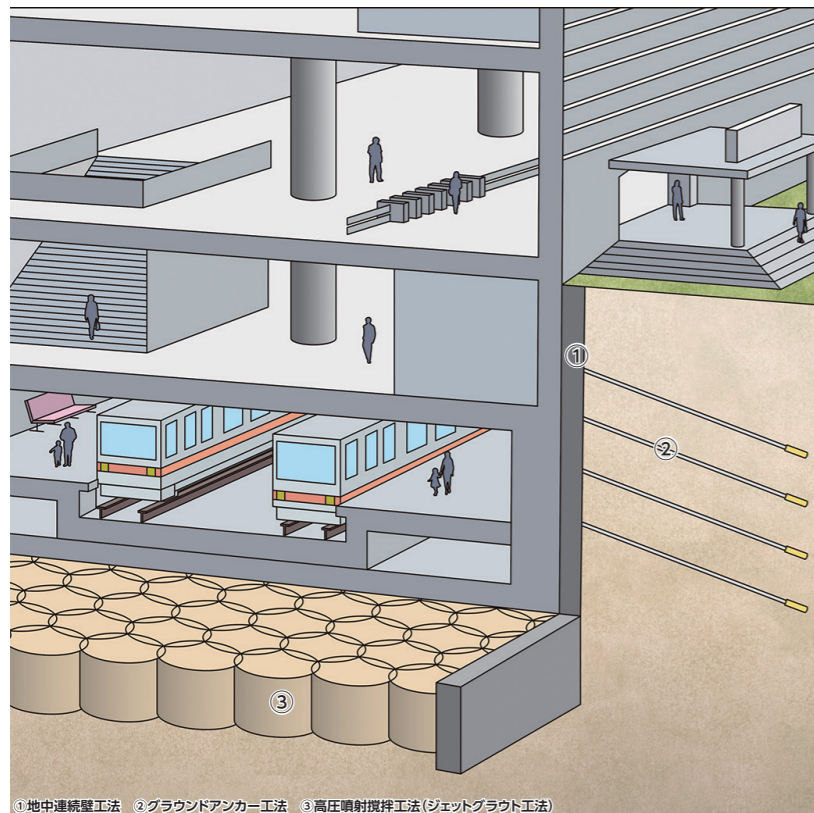
本社(霞が関ビルディング)



どんな風に地盤を安定させていますか?



いろいろな工法の中で、その地盤に一番適切なものを選び工事をします



### さまざまな工法で地面の下を強くする まちの安全を支える大事な仕事

例として、地下鉄駅建設では、地盤を安定させるため多様な専門工法を用います。高圧噴射で地中に柱や壁を造り地盤を強化するジェットグラウト工法、地中深くに鉄筋コンクリートの壁を築く地中連続壁工法、壁を支えるグラウンドアンカー工法など。これらを目的や場所に応じて使い分け、安全で快適な地下空間を構築しています。

### 多様な工法で地盤の悩みを 解決する地下工事のスペシャリスト

地中連続壁工法は掘削時の土砂崩れを防ぐ壁を造り、掘削土の再利用も可能で環境に優しい。グラウンドアンカー工法はPC鋼材で壁や斜面を固い地盤に固定し安定させる。高圧噴射攪拌工法(ジェットグラウト工法)は、液体状のセメントを高圧で地盤に噴射し、地中に固い柱を造る日本発の技術で、世界中で広く用いられています。

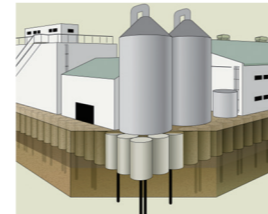


大地震に備える  
工法はありますか?



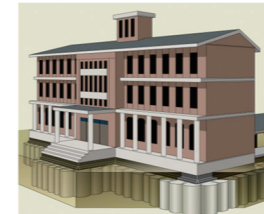
建築物、土木構造物の基礎地盤を  
強くする高圧噴射攪拌工法があります

#### 工場基礎耐震補強



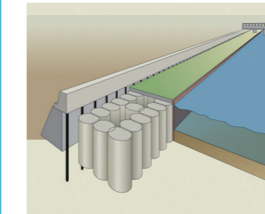
工場を操業したまま、工場の中から直下の液状化層を改良します。

#### 歴史的建造物 基礎耐震補強



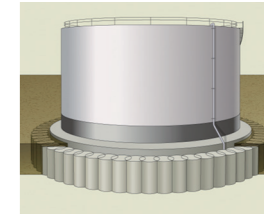
建物内部の狭い箇所にも施工機を配置。建物を改変することなく基礎を補強します。

#### 防潮堤補強 (地震時沈下防止対策)



河川に台船プラントを係留して、既設防潮堤を補強します。

#### 旧法タンク地震対策



地上・地下に複雑に敷設された配管を避けて、タンク外周部直下を施工します。



環境に負担が少ない  
工法はありますか?



地盤に含まれる水分を利用する  
環境に優しい工法があります



### 溶けて土に戻る、環境に優しい 「地盤凍結工法」

地下工事のとき、壁や天井が崩れてくると危険です。壁や天井が崩れないようにする工法は、いくつかありますが、中でも特に、固める地盤の土に含まれている水分を凍らせて地盤を強くする「地盤凍結工法」は環境に優しい工法です。元々含まれている水分を凍らせて固めているだけなので、氷が溶けたら元の土に戻るからです。環境に負担をかけることが少ない地球に優しい技術です。

### 働く人の声を聞いてみよう!

### Q&A



設計本部 設計部  
いわさき ゆうこ  
岩崎 結子さん

Q.どんな仕事を担当していますか?

地盤改良をする範囲を計算する仕事をしています。地面の下は見えないため、いろいろな方法で計算をします。地質データや最新の解析技術を駆使し、安全な街の土台を設計する重要な役割です。地盤改良をした上に建物ができることは、喜びとやりがいを感じられる楽しい仕事です。



施工本部 地盤改良部  
おおあさ ひろゆき  
大麻 広幸さん

Q.この仕事のやりがいは?

地盤改良の工事計画の仕事をしています。現場の状況は毎回違うため、安全と品質を第一に最適な工法を計画するのが腕の見せ所です。みなさんが日々使っている設備は地下にあるものが多く、その設備を作るために必要な工事です。人々の生活を支える仕事にとってもやりがいを感じます。



技術本部 技術開発部  
やまの べ じゅんいち  
山野辺 純一さん

Q.この仕事のやりがいは?

土に触ることが好きでこの仕事を選びました。環境にやさしい材料を用いた地盤固化や汚染土壌の浄化に関する技術開発をしています。研究室での地道な実験とデータ分析の繰り返しですが、未来の環境を守る技術を生み出せます。試行錯誤して完成した技術が現場で使われることが、大きなやりがいです。